宗門之事ニ付猶ニ書面精敷可致吟味者
ましておゐてハ罪科之者ゟ可申出候
右之通向々江申付来候ニ
七月
右之通相触候間可被得其意候

觸書

外国人共市中江出歩行致候節ハ何方も
参り候儀有之候ハヽ法度之筋ニ付召捕ニ成候
右之者共勤方も有之候ハヽ可相心得
こうした義ニ付御国法ニ相触候間可存候
右之者ニ付対し候ハヽ右之趣ニ致
及ぶ法令ニ召捕候間ニ可申出候